

刀銘 濃州住千手院道印

法量 刃長 614mm 反り 16mm 元幅 25.8(27.1)mm 重ね 5.9mm 鎗重 6.6mm 先幅 14.8(15.2)mm 先重 2.9mm 先鎗重 3.5mm

形状 鎗造り、庵棟、身幅狭く、鎗やや高く、先反り。

鍛 板目つんで流れ、太い筋状の異鉄が目立ち、鎗地疋がかり、幽かに映り立つ。

刃文 二つ連れ互の目、小沸づいて、処々砂流しかかり、僅かに棟を焼く。

帽子 直ぐに先小丸、掃き掛けて短く返る。

茎 やや深く区を送り、刃方を摺り、反りを撓め、先葉研尻風の刃上り栗尻、棟小肉、鑓目表は平地を切、鎗地は大筋違、裏は新鑓で勝手下り。

道印唯一の現存刀である。光山押形所載。

縮小率50%

